

公安委員会の開催概要

公安委員会は、令和4年1月27日（木）に開催されました。

1 決裁事項

- ・ 警察署協議会の委員候補者について
- ・ 個人情報開示請求について
- ・ 審査請求関係について
- ・ 免許関係業務委託に係る認定審査について
- ・ 運転免許の取消処分について

2 審議事項

- ・ 案件なし

3 報告事項

- (1) 警察職員の職務執行等に対する感謝事例について
(令和3年第4四半期及び令和3年中)

県警察から、警察職員の職務執行等に対する感謝事例に関する報告があった。

令和3年10月から12月までの間、警察活動に対して県民等から寄せられた感謝事例が8件あり、その内訳は、「警務警察活動」3件、「生活安全警察活動」2件、「交通警察活動」3件であるとのことであった。

委員から、『職員と共有し、今後の業務にいかしてもらいたい。』との発言があった。

- (2) 令和3年中における遺失物・拾得物取扱状況について

県警察から、令和3年中における遺失物・拾得物取扱状況に関する報告があった。

遺失届の受理件数16,225件で、このうち現金の届出総額は1億1,798万2,548円、物品は52,161点である。また、拾得届の受理件数95,536件で、このうち現金の届出総額は84,144,612円、物品は124,549点である。拾得の届出のあったもののうち、遺失者に返還された件数は10,270件であるとのことであった。

委員から、『保管、管理に十分留意し、適切に対応されたい。』との発言があった。

- (3) 令和3年度刑事部、交通部及び警備部の監察実施結果について

県警察から、令和3年度刑事部、交通部及び警備部の監察実施結果に関する報告があった。

刑事部監察では指導事項が10警察署、交通部監察では指導事項が8警察署で、極めて良いが3警察署、警備部監察においては指導事項がなく全所属で良好であったほか、極めて良いが1警察署であるとのことであった。

委員から、『指導事項について、その業務自体の問題点の有無について確認、検討されたい。』との発言があった。

(4) 令和3年の特殊詐欺の認知、検挙状況（暫定値）等について

県警察から、令和3年の特殊詐欺の認知、検挙状況等に関する報告があった。

令和3年の特殊詐欺認知件数は45件、被害総額は約7,800万円と、前年と比較し件数は4件増加、金額は約1,800万円減少した。認知事件の特徴として、パソコンウィルス対策名目等の架空料金請求詐欺が大幅に増加している。被害者は、高齢者が多いものの、日常的にパソコンやスマートフォンを利用している若年層にも被害が拡散しているとのことであった。

委員から、『地道に広報活動を継続してもらいたい。』との発言があった。

(5) 大館能代空港不法侵入事案対応訓練等の実施結果について

県警察から、大館能代空港不法侵入事案対応訓練等の実施結果に関する報告があった。

1月19日、大館能代空港のターミナルビルにおいて、不法侵入事案が発生したとの想定で訓練を実施し、大館能代空港保安委員会等関係機関との連携及び対応手順を確認したとのことであった。

委員から、『今後も訓練を継続していただきたい。』との発言があった。